

科学技術高校

生徒による

いきものの記

Vol.98 2024.1.29

2年1組 佐藤 暖哲^{はるあき}

都市公園に現れた“清流の宝石”

カワセミ

“青い鳥”と言われて真っ先に思い浮かぶ鳥はなんだろう。筆者の場合はカワセミ一択である。カワセミといえば、バードウォッチャーに大人気の鳥だ。その人気の所以は、羽の色にある。多くのバードウォッチャーを魅了するカワセミの羽は、**構造色になっているため、「清流の宝石」とも呼ばれるほど、青く輝く美しいものなのだ！！**

そんなカワセミだが、ここ最近では猿江公園の池に頻繁に現れる。どうやらここが狩りのスポットになっているようだ。12月某日の昼、ぶらっと公園に立ち寄ると、カワセミを発見。これまたテスト期間中であつたのだが（vol.90でもテスト期間中に鳥を見ていた）、そんなことは気にせずに、すかさずカメラを構える。この日は非常にサービスが良く、目の前で何度も水中にダイブし、狩りをしていた。しかも、嬉しいことに2、3時間ほど同じ場所にいてくれた。おかげで、**遂にカワセミがダイブして魚を獲る瞬間を捉えることができた！！**長年夢見ていたことが、ようやく叶ったのだ。その日は湧き上がる高揚感を抑えきれずに、ニヤつきながら帰った。いやあ、実に有意義な1日だった…（テスト以外は）。



カワセミ *Alcedo atthis*

カワセミの雌。下嘴が赤いのが雌の特徴。雄の下嘴は基本的に黒色だが、赤色が混じった個体もあり、識別はちょっと難しい。羽が青く非常に目立つため、一度目に入ると分かりやすいのだが、小さいが故に見つけるのは意外と難しい。

東京都ランク：絶滅危惧II類

【カワセミの狩りの様子】



①獲物を見つけたようだ。一気に飛び立つ。



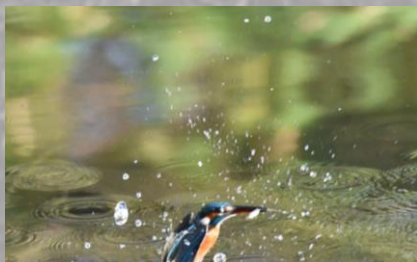
②まずは翼を大きく広げて落下速度を下げる。そして、獲物の位置（着水地点）を再度確認し、調整する。



③狙いを定め、急降下の準備に入る。背中の光沢が美しい…。



④翼をたたみ、空気抵抗を極限まで減らして急降下！！まるでハヤブサのようだ…！



⑤着水して小魚をキャッチ！



⑥飛び立つために一度態勢を立て直す。



⑦何度か羽ばたいて勢いをつける。



⑧水面から飛び上がった！この後、止まりやすい場所に移動してから、捕らえた小魚を飲み込む。

※①～④と⑤～⑧の写真は、別のタイミングで撮影したものです。